

年末年始 安全安心パトロール

八本松中央地区 子ども達の協力で 元気なパトロールに

戸締り用心・火の用心！ 無駄な外出控えましょう！

八本松中央地区自主防災会（会長 高山徹）は、12月26日（土）から2日間、地区内の年末防犯・防災警戒パトロールを行った。



防犯パトロールに参加した八本松中央地区の皆さん

スポーツ少年団、民生児童委員、見守りボランタリーや地域住民有志の方に協力の輪を広げ実施されたもの。

初日の26日は約40人の皆さんが八本松集会所に集合。2隊に分かれてのパトロールで、特に、隊の前後には青パトと交通誘導員等を配し、拍子木や声掛けする子ども達の安全を確保するなど整然としたパトロールとなった。

このパトロールは昨年から行われているもので、特に今年はパトロール時間を夜間から夕方4時に繰り上げ、子ども達を交えての取組み。協賛も八本松中央自治会（会長 常光 聡）の他、八本松

掛け声は、「火の用心！ カチカチ 戸締り用心火の用心！無駄な外出控えましょう！カチカチ」と年末の防犯とコロナ対策の呼びかけ。子ども達の明るい声が街内に響き、一時、飛び入り参加する子ども達も見られるなど、

住民の皆さんの興味をひいていた。

参加した小学生に感想を聴くと、「大きな声で頑張りました。これで見んな気を付けてくれると思います」と明るく答えられた。

パトロール終了後、高山会長は、「八本松スポーツ少年団など子ども達が協力してくれて元氣の出るパトロールとなった。これで、火事など起こらない、コロナの出ない街になればと思っています。また、今後も恒例事業として継続していく予定です」と語った。



元気な声でパトロール

八本松地区 年末恒例 夜間パトロール 子ども達の声で

八本松みなみ地区自主防災会（会長 横井



夜間パトロールに参加した八本松みなみ地区の皆さん

國興）は、12月30日（水）夜8時から恒例（平成26年から）となっている年末警特別警戒パトロールを行った。今回は、16人の有志の方（大人12人子ども4人）が参加され、十分な寒さ対策のうえ、寒風の晴れた月夜を約1時間、拍子木に合わせ「火の用心」と連呼し、地域内の団地をパトロールした。特に、子ども達の寒さに負けない元氣な声に助けられ、しっかりと

パトロールを終えることができたようだった。パトロール後の報告会では、最近、防犯灯の増設やLEDランプへの交換、照明の障害となっていた樹木の伐採等防犯対策がとられ、暗い箇所が少なくなったと報告された。

子ども達に感想を聴くと、「マスクをしていても大きな声を出せて楽しかったです」とご褒美のお菓子を手に明るく答えてくれた。

1月5日（火）青少年育成部会（部会長 中森幸恵）は、学校の冬休み期間に合わせ、今年度3回目の「夜の



自治協青少年育成部会 子ども達の安全安心を冬休み 夜の見回り

見回り活動」を実施した。今回は、青少年育成部会員の方等10名が地域センターに集合。青パト3台に分乗し、午後6時から約1時間学校区内の大型商店や公園、併設のトイレ等を中心にパトロールを実施した。この日は外気温が低く、外出者も少ない状態で不審者や一人で出歩く子どもは認められなかった。

今年度に入り、4月4日と8月15日にも今

回と同規模の見回り活動（参加者15名、青パト3台）を実施したが、新型コロナウイルス対応のためか、8月の見回りで公園で遊ぶ子ども達が若干見受けられた以外、夜間出歩く子ども達はほとんど認められない状況であった。また、おやじの会（会長 細工 正）も、8月9日（参加者10名、青パト3台）と12月26日（参加者10名、青パト4台）に夜間パトロールを実施している。